



DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー（本誌）

2027年1月号（2026年12月10日発売予定）

DHBRオンライン

2026年12月10日公開

2026年8月現在

1月号 編集特集
(12/10発売号)

最適なスピードで成長する
目標設定（仮）

創刊

50th

事業を前進させるリスクマネジメント ～ポリクライシス（複合危機）時代のリーダーシップ～

【ご協賛対象サービス】

ERP/EPMベンダー、リスクマネジメントコンサルティング、総合シンクタンク、リスク管理系保険会社、統合リスク管理ツール、法律事務所



不確実性を「アクセル」に変えるリスクマネジメントとは

現代の企業を取り巻くリスクは、地政学、サイバー、災害、人権、環境など、多岐にわたり連鎖しています。多くの企業がこれらに対して個別のマニュアルや計画書を策定してきました。しかし、現場の実態はどうでしょうか。リスクごとに担当が分断され、情報が縦割りになる中で、「何が自社にとって本当に致命傷になるのか」の全体像が見えなくなり、具体的な対策や適切な優先順位をつけられずに苦戦しています。

激変する情勢や突発的な危機といったリスクは、どの企業にも平等に、容赦なく押し寄せます。しかし、それを単なる「脅威」として縮小均衡に走るか、成長の「機会」として事業推進に活かすかは、企業次第です。

リスクが多岐にわたる現代において、すべてのリスクに100点満点の対策をすることは、予算・リソース的にも非常に困難です。だからこそ、チェックリストを埋めるだけの守りのリスク管理ではなく、全社的な優先順位をつけ、自社にとっての致命傷はどこにあるのか、どのリスクにどれだけのリソースをかけるのかを「決断」しなければならないのです。

この決断は、各部門の担当者のみでは不可能です。経営トップが自ら、全体を俯瞰したうえで、自社が守るべき一線はどこにあるのかを明確に示し、責任をもって発信する必要があります。そうしてリスクの正体と自社の防衛線を正しく見極めることができれば、不確実性はむしろ「他社が足すくむ中で、自社だけが安全にアクセルを踏み込める領域」へと姿を変えるのです。

そこで、DIAMONDハーバード・ビジネス・レビュー2027年1月号にて、「組織を前進させるリスクマネジメント」と題した広告企画を実施いたします。変化の激しい環境下で、リスクを経営戦略のアクセルへと変えるための解釈や手法を解説するとともに、貴社の製品・サービスの優位性や付加価値を訴求いたします。

ぜひ、この機会に出稿をご検討いただきますようお願い申し上げます。



DIAMONDハーバード・ビジネス・レビューとは

米国以外では世界で最も早く1976年に創刊。
2026年に50周年を迎えました。
創刊以来、グローバル・リーダーを目指す人のための日本で唯一のマネジメント誌として高い評価を受けており、最近では、起業家やベンチャー経営者など若手のビジネスリーダーからも絶大な支持を得ています。

DHBR 創刊50周年サイトオープン



2026年、
『DIAMONDハーバード・ビジネス・レビュー』
(DHBR) は
創刊50周年を迎えました。

1

特設サイト「経営の未来」をオープン！

50周年関連記事をはじめ、「識者が語る経営の未来」「HBR賞から見るマネジメントの変遷」「50年の歴史を彩る名論文50」など経営層に向けた特別記事群をキュレーションします。

DHBRが提示し続けてきた日本のビジネス界が「いまフォーカスすべきイシュー」に関連する記事群で読者にアプローチします。

2

特設サイトからタイアップコンテンツへの誘導を実施！

注目度の高い記事群が集まる特設サイトにタイアップ記事の誘導枠をご用意。

通常の誘導に加えて感度の高い読者層への接触スペースとして**追加誘導枠を特設サイトに設置いたします**。巻頭広告記事企画「経営の未来」をはじめ一部のタイアップ企画におけるオンライン転載時に特別誘導を行います。
また、**12月開催予定のウェブセミナーの告知も実施予定！**

50周年となる今年ならではの施策となりますのでぜひこの機会にご検討ください。

特設サイト



<https://dhbr.diamond.jp/list/sp-50th>

オンラインTOP



最適なスピードで成長する 目標設定（仮）

経営において「成長」は至上命題とされるが、その追求が内包する歪みやリスクへの危機感は薄い。ビジネスモデルの破綻を招いたり、資本配分の最適解を見失わせたりして、むしろ長期的かつ持続的な成長を阻害する危険性がある。成長至上主義にとらわれず、より長期の成長を実現するために、組織にとって最適な目標とは何か。そのような目標をどうすれば設定できるのか。そして、組織のリーダーは目標の達成に向けて、従業員をどうやって導くべきなのか。

【HBR候補】拙速なスケーリングがもたらすリスク

キャサリン M. アイゼンハート（スタンフォード大学 教授）ほか
“The Risks of Scaling Too Fast,” HBR, September-October 2026.

【HBR候補】成長に向けた再投資にどれくらい配分すべきか

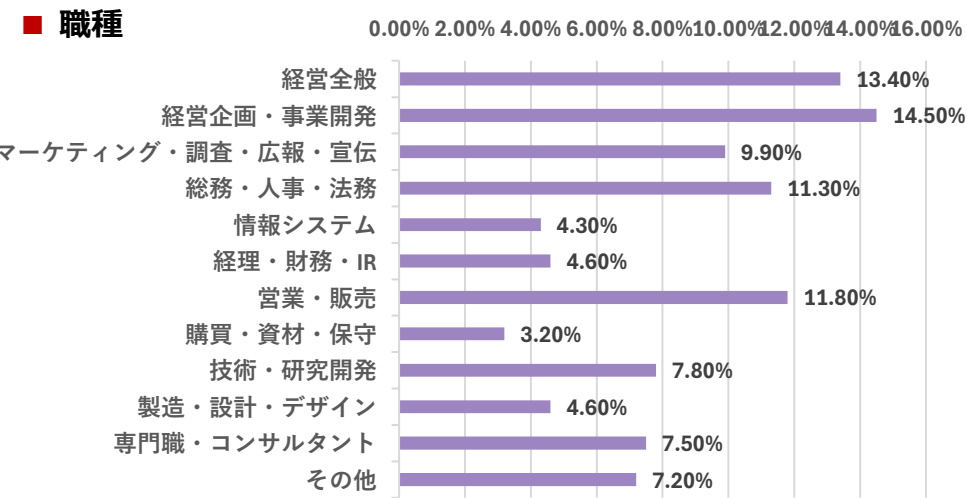
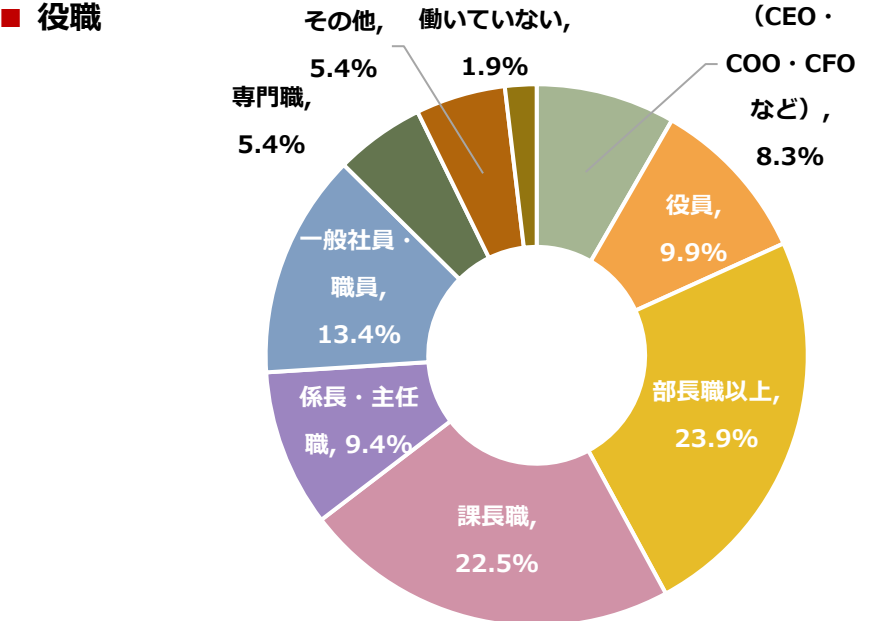
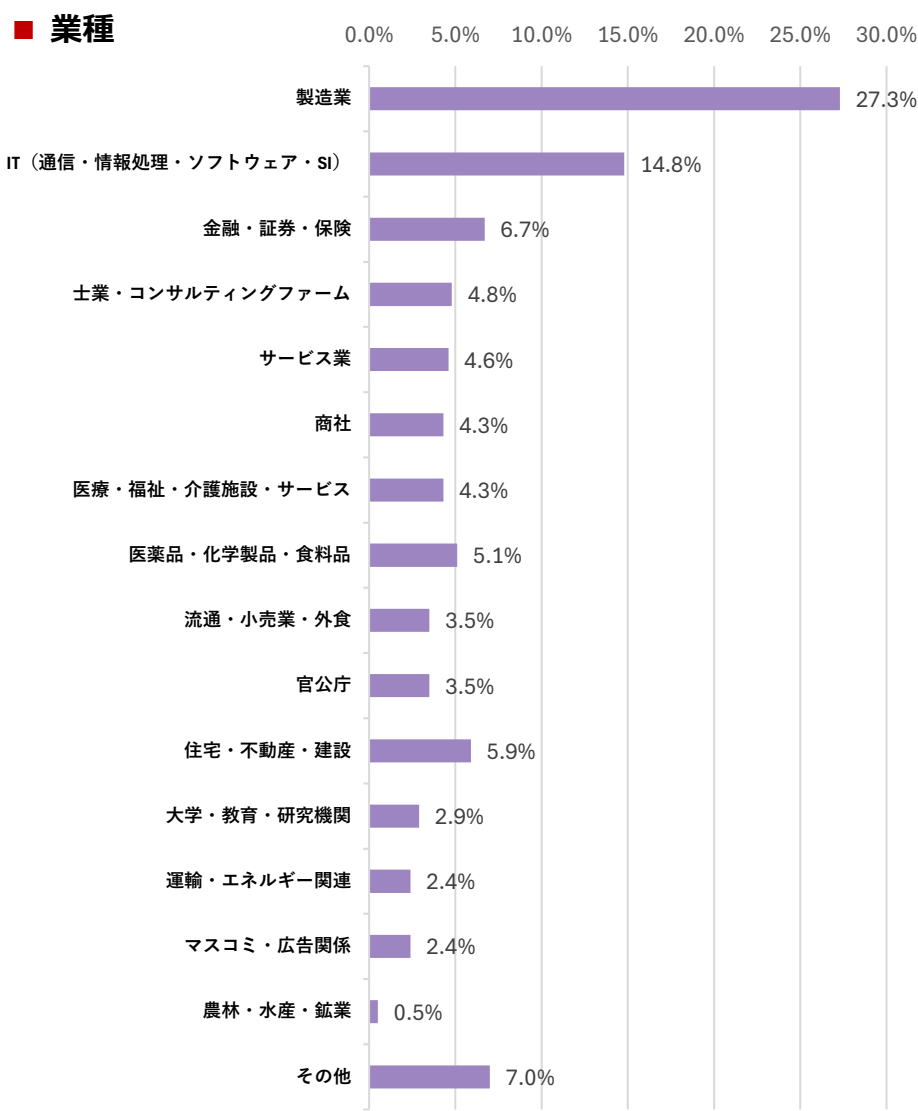
ポール・ブラーゼ（PwC米国 プリンシパル）ほか
“How Much Should You Be Reinvesting in Growth?” HBR, September-October 2026.

【日本オリジナル】出木場久征（リクルートHD） ※確定

【日本オリジナル】鈴木雅哉（モノタロウ 代表取締役会長） ※確定

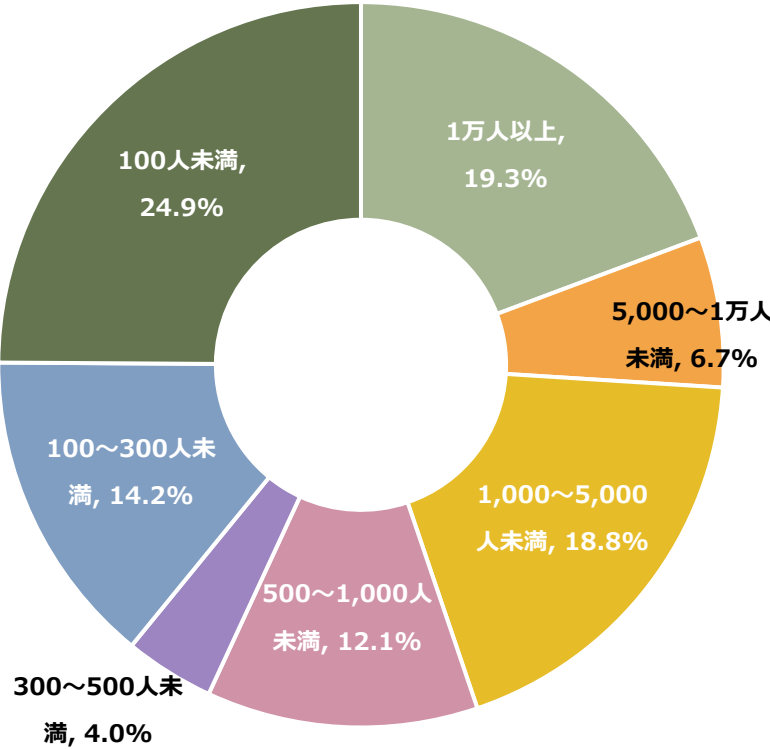
【日本オリジナル】もう一本検討中

■DHBR読者属性①

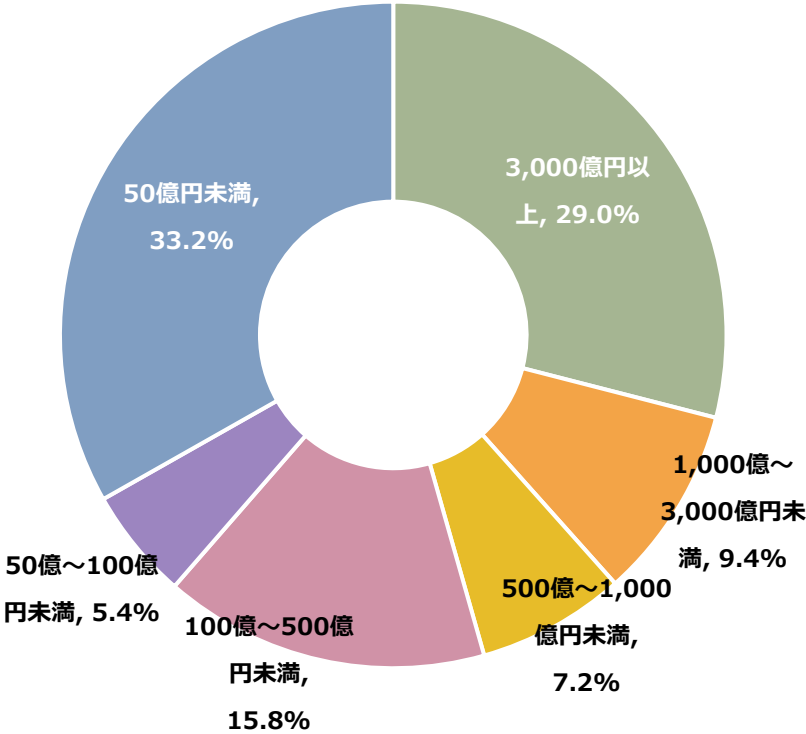


■DHBR読者属性②

■ 勤務先従業員数

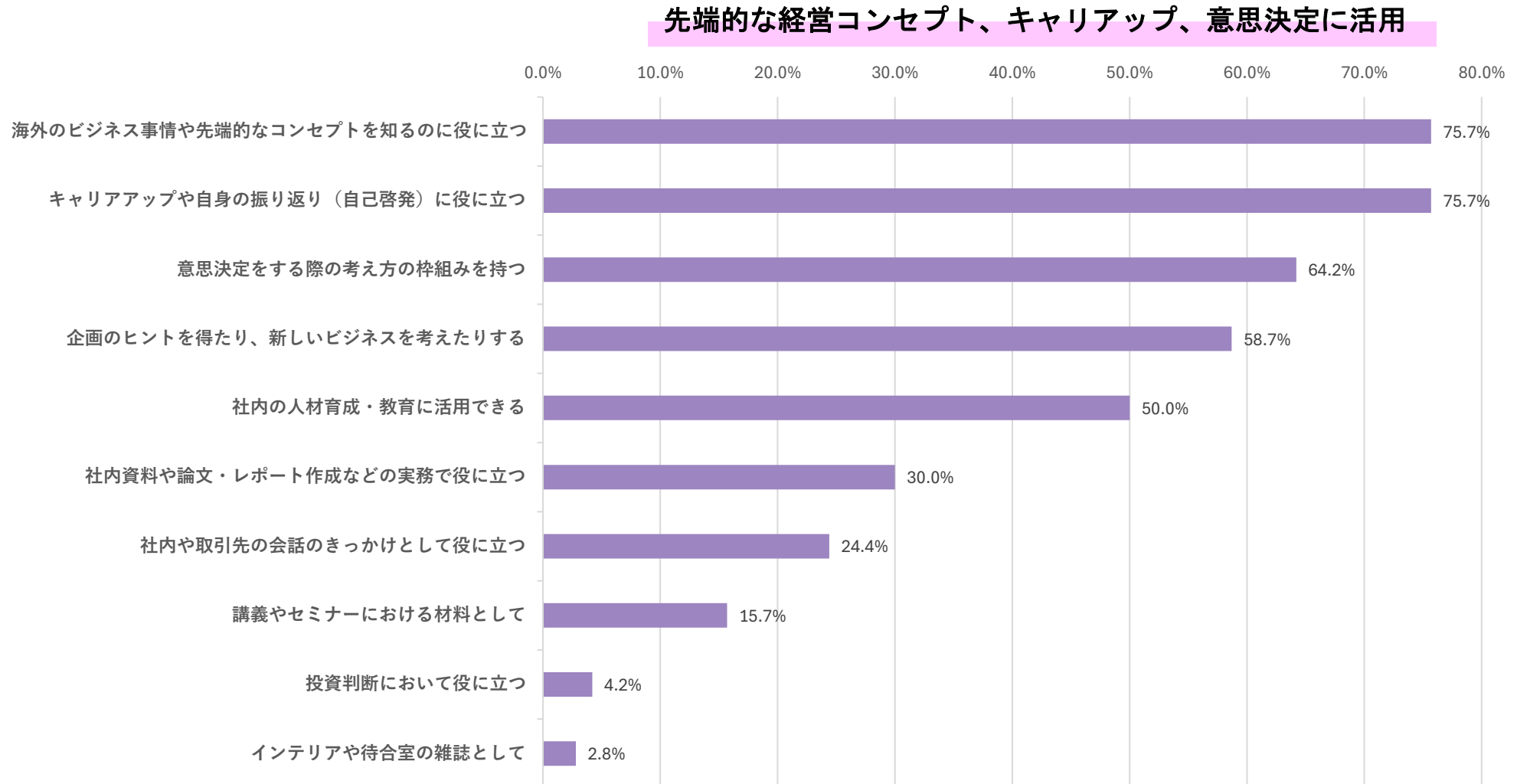


■ 勤務先売上規模



■DHBR読者属性③

■ DIAMONDハーバード・ビジネス・レビューの活用方法



■広告掲載概要

連合企画ならではの構成で掲載されるタイアップ記事で効果的にメッセージを伝えることが可能です。
本誌/オンライン両方活用した**ハイブリッド掲載**に対応しています。

広告企画：タイアップ



広告企画：総論

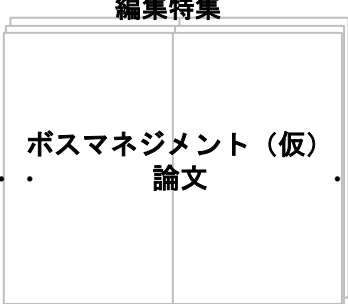


※協賛企業が2社の場合の展開例



オンライン転載を
同時に実施可能

編集特集



本誌



オンライン



■DHBR 誌面展開イメージ

広告企画：タイアップ

広告企画：総論

※協賛企業が2社の場合の展開例

編集特集

ボスマネジメント（仮）
論文

各論記事（≒広告タイアップ）

広告主様各社へ取材を行い、独自の視点で貴社サービスの特長や強みをタイアップ記事としてまとめます。

総論記事

企画テーマの内容に知見を持つプロフェッショナル、専門家へのインタビューやビジネス課題などについての解説記事を掲載いたします。

※編集特集につづいて広告企画を展開いたします。

<備考>

- ※1社ご参画の場合、総論はつかず、扉1Pのみとなります。
- ※2社ご参画の場合は、扉はつかず、総論2Pのみとなります。
- ※3社以上ご参画の場合は、扉+総論2Pの掲載となります。

■DHBRオンライン展開イメージ

本誌掲載内容をオンラインに転載。DHBRオンライントップ、ダイヤモンド・オンラインの広告誘導枠から読者をタイアップページへ誘導いたします。

DHBRオンライントップ



誘導

オンラインタイアップ（転載）



広告主様サイト



※掲載終了後に掲載レポートを提出



ダイヤモンド・オンライン
広告誘導枠



■企画料金（誌面／オンライン）／オプション料金

▼誌面2ページプラン

実施料金	誌面/オンライン ハイブリッドパッケージ Premiumプラン	誌面/オンライン ハイブリッドパッケージ Standardプラン	オンラインタイアップ のみプラン	雑誌タイアップ のみプラン
	4色2ページタイアップ（中面）			
制作費込／税別	490万円	370万円	300万円	250万円
オンライン掲載 保証PV	転載 10,000 PV	転載 5,000 PV	10,000 PV	—

▼誌面4ページプラン

実施料金	誌面/オンライン ハイブリッドパッケージ Premiumプラン	誌面/オンライン ハイブリッドパッケージ Standardプラン	オンラインタイアップ のみプラン	雑誌タイアップ のみプラン
	4色4ページタイアップ（中面）			
制作費込／税別	690万円	570万円	300万円	450万円
オンライン掲載 保証PV	転載 10,000 PV	転載 5,000 PV	10,000 PV	—

▼オプション

・抜刷冊子



4色4頁×1,000部～

450,000円～（税別）

※一社単独での抜き刷りの場合。

1,000部以上ご希望の場合はお問合せ下さい。

・オンラインタイアップ外部ブースト



ご要望に応じてお見積もりいたします、
ご希望の場合はお問い合わせ下さい。

[本企画のお申込み締切]

タイアップ申込締切：**2026年9月30日（水）**

【お問い合わせ】

株式会社ダイヤモンド社 デジタル局
メディア事業企画部

東京都港区六本木1丁目6番1号 泉ガーデンタワー10階

TEL:03-5778-7220 FAX:03-5464-0783

Mail:web_ad@diamond.co.jp